2027年3月期
第2四半期（中間期） 決算補足資料

株式会社ハマキョウレックス

東京証券取引所プライム市場：9037



【浜松常温センター】

目次

Ⅰ．2027年3月期第２四半期（中間期）概況
Ⅱ．2027年3月期下期に向けて
Ⅲ．2027年3月期第２四半期（中間期）実績
Ⅳ．近物レックスの現況と今後の戦略
Ⅴ．参考情報

BUSINESS PROPOSE

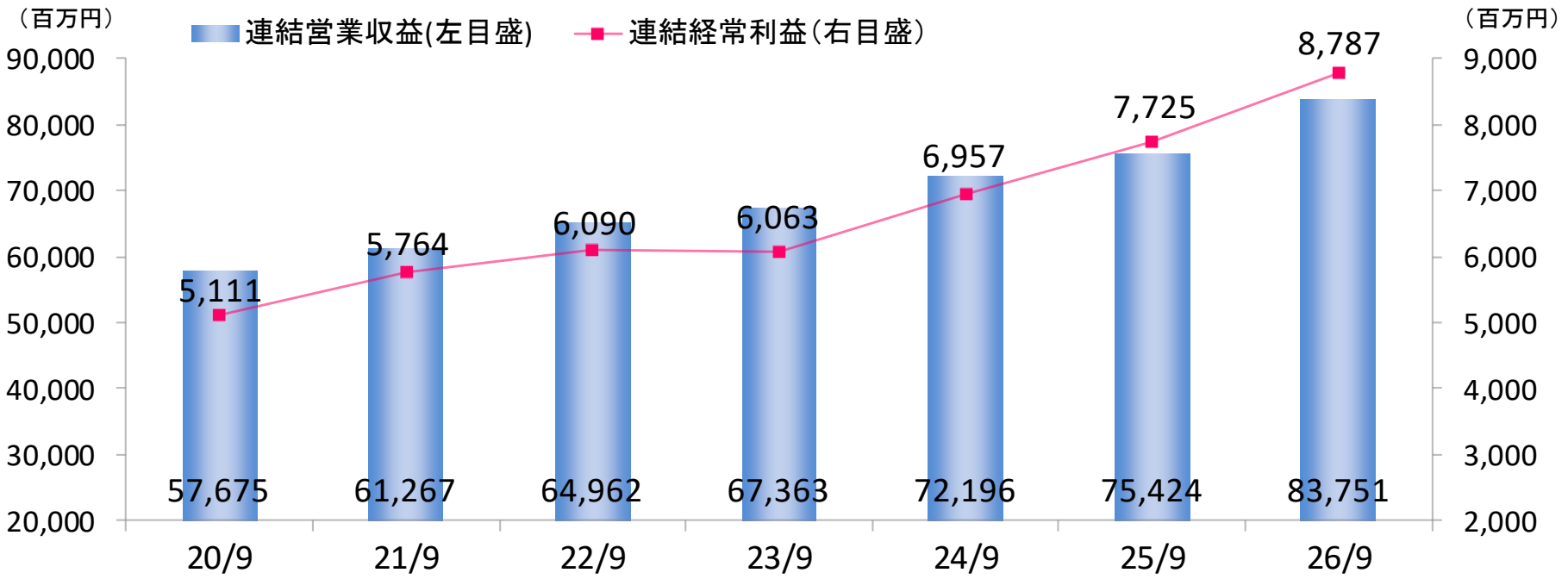
Ⅰ. 2027年3月期
第２四半期（中間期）概況

Ⅰ-1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の業績

営業収益は、　837億51百万円　(前年同期比　+11.0%　)
経常利益は、　87億87百万円　(前年同期比　+13.7%　)の 増収増益

項目	対前期比	対前期比増減主な要因
営　業　収　益 83,751百万円	+8,327百万円 (+11.0%)	・物流センター事業での運営の充実と新規稼働 ・貨物自動車運送事業での運賃改定と貸切便増加 ・M&A効果
営　業　利　益 8,160百万円	+1,000百万円 (+14.0%)	・物流センター事業で生産性向上及び収益増加 ・貨物自動車運送事業での生産性向上 ・M&A効果
経　常　利　益 8,787百万円	+1,061百万円 (+13.7%)	
親会社株主に帰属する中間純利益 5,084百万円	+252百万円 (+5.2%)	

Ⅰ-2. 収益構造



	連結業績
営業収益	6期連続増収（過去最高）
営業利益	6期連続増益（過去最高）
経常利益	3期連続増益（過去最高）
親会社株主に帰属する中間純利益	13期連続増益（過去最高）

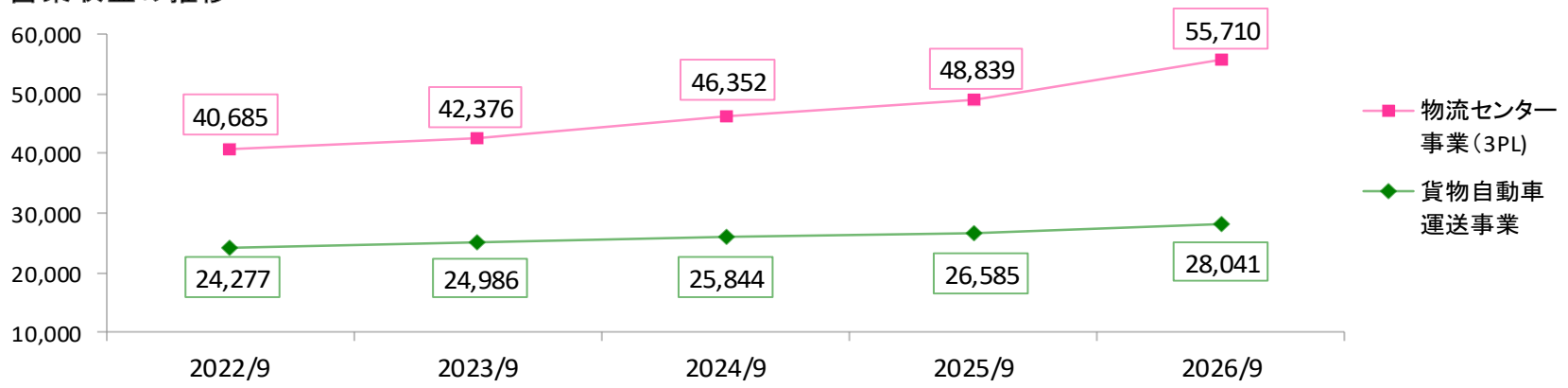
HAMAKYOREX

Ⅰ-3. セグメント情報の推移

（連結：百万円）

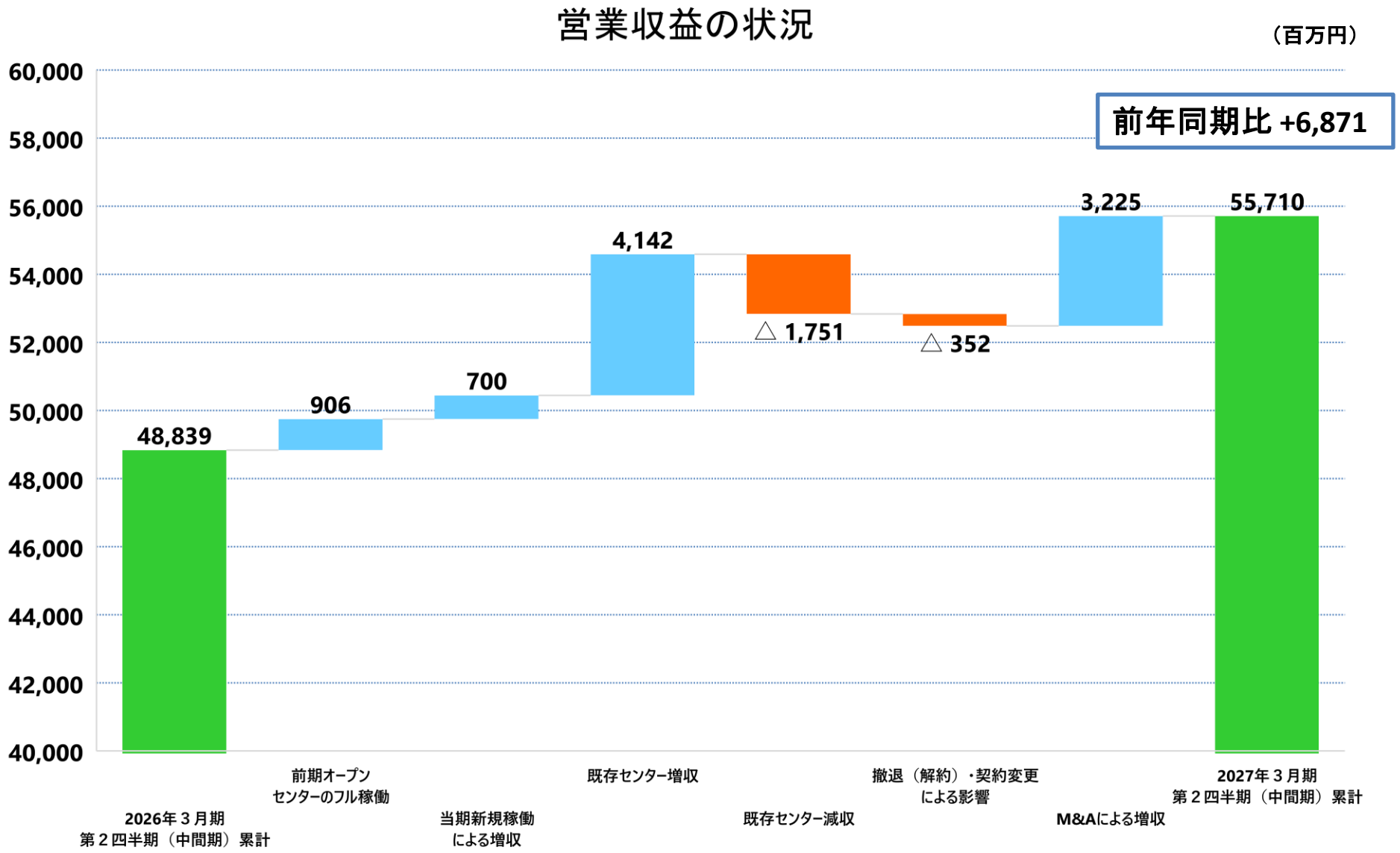
		2022/9 (構成比:%)	2023/9 (構成比:%)	2024/9 (構成比:%)	2025/9 (構成比:%)	2026/9 (構成比:%)	増減 (増減率；%)
物流センター事業（3PL）	営業収益	40,685 (62.6%)	42,376 (62.9%)	46,352 (64.2%)	48,839 (64.8%)	55,710 (66.5%)	+6,871 (+14.1%)
	営業利益	4,905	4,984	5,649	6,457	6,933	+475
貨物自動車運送事業	営業収益	24,277 (37.4%)	24,986 (37.1%)	25,844 (35.8%)	26,585 (35.2%)	28,041 (33.5%)	+1,455 (+5.5%)
	営業利益	721	652	787	730	1,196	+465

営業収益の推移



HAMAKYOREX

Ⅰ-4. 物流センター事業(3PL)の概況



HAMAKYOREX

Ⅰ-5. 物流センター事業の稼働状況

新規受託及び稼働

取扱品目	前期受託未稼働 ①	当期受託 ②	稼働 ③ 既存※1	稼働 ④ 新規※2	当期未稼働 ①+②-③-④	未稼働memo
メディカル/ヘルスケア	1社	1社	1社	1社	-	
フード		0社			-	
アパレル		2社	1社	1社	-	
ホームケア		2社	1社	1社	-	
インダストリー		4社	1社	3社	-	
その他		0社			-	
計	1社	**9社**	**4社**	**6社**	-	



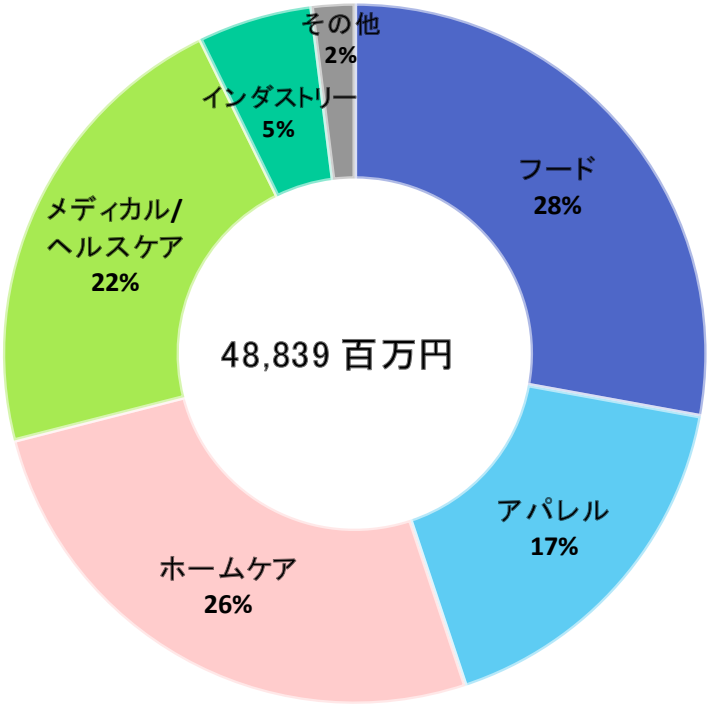
物流センター数

2026年9月30日現在

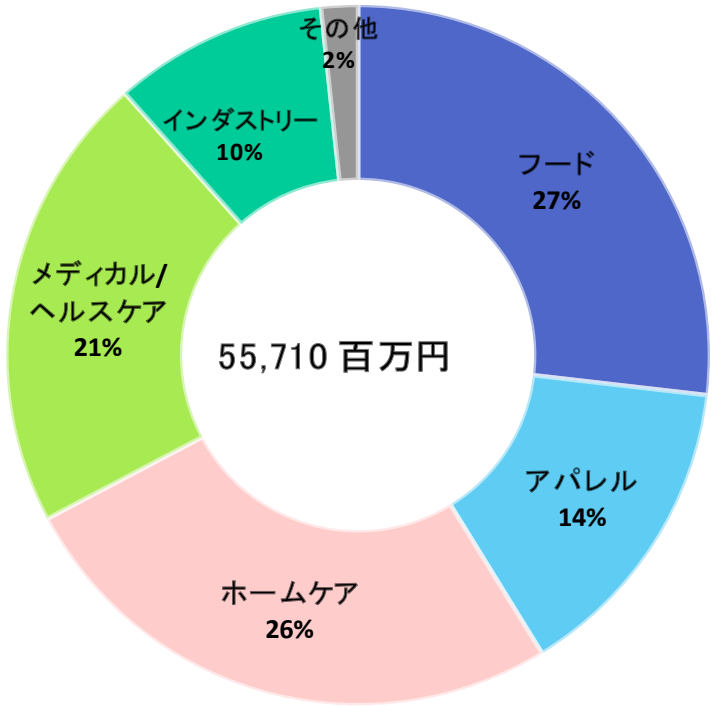
自社センター	73	（788,883㎡）
借用センター	145	（1,128,579㎡）
計	218	（前年度末比+24）

Ⅰ-6. 物流センター事業の取扱カテゴリー別売上高

2026年3月期
第2四半期（中間期）累計

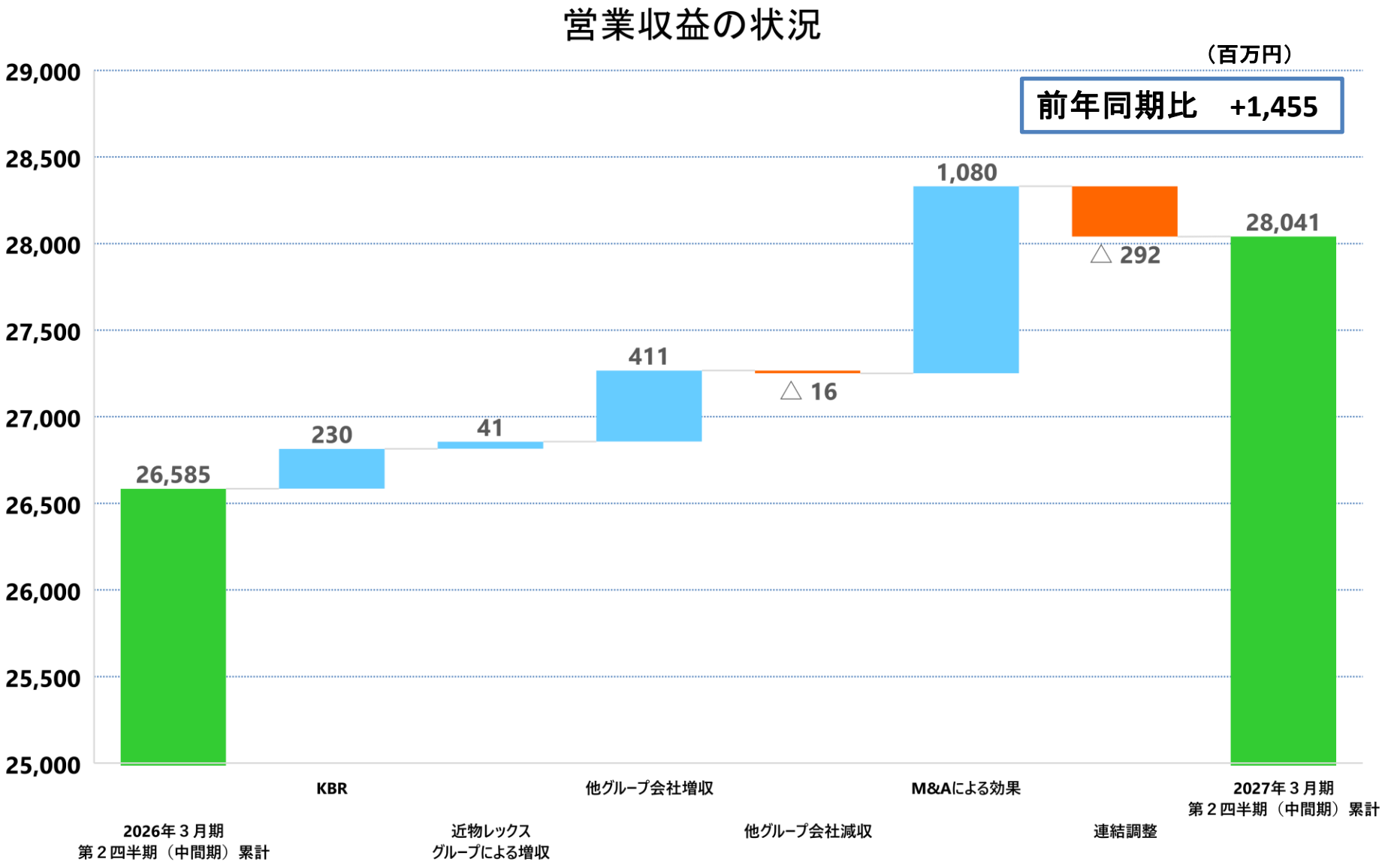


2027年3月期
第2四半期（中間期）累計



HAMAKYOREX

Ⅰ-7. 貨物自動車運送事業の概況



※近物レックスグループとは、近物レックス㈱とその子会社４社です。
（都運輸㈱、三重近物通運㈱、茨城県貨物自動車運送㈱、㈱エービーエクスプレス）

HAMAKYOREX

Ⅱ. 2027年3月期
下期に向けて

Ⅱ-1. 2027年3月期 業績予想

（百万円）

	連結業績	
	計画	前期比（増加率）
営業収益	165,500	+10,000 (+6.4%)
営業利益	16,300	+1,538 (+10.4%)
経常利益	17,200	+1,119 (+7.0%)
親会社株主に帰属する当期純利益	10,800	+79 (+0.7%)
設備計画	12,000	***



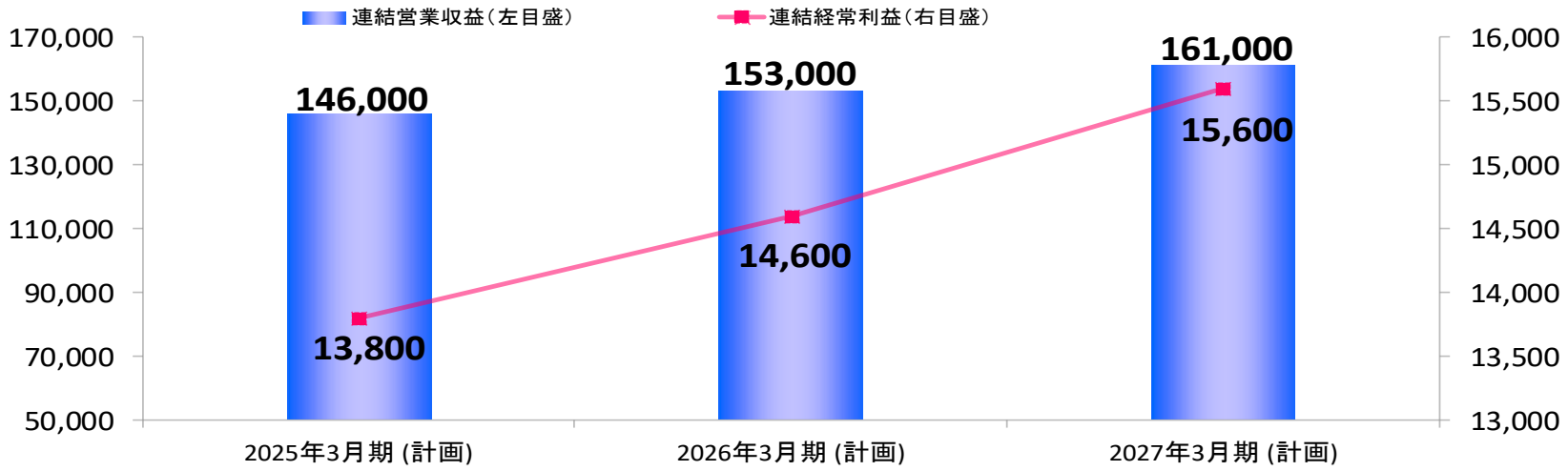
（百万円）

セグメント別業績予想		計画	前期比	（増加率）
物流センター事業	営業収益	108,500	+7,562	(+7.5%)
	営業利益	13,770	+701	(+5.4%)
貨物自動車運送事業	営業収益	57,000	+2,437	(+4.5%)
	営業利益	2,530	+817	(+47.7%)

Ⅱ-2. 中期経営計画

（百万円）

	2025年3月期（計画）	2026年3月期（計画）	2027年3月期（計画）
	連 結	連 結	連 結
営業収益	146,000	153,000	161,000
経常利益	13,800	14,600	15,600
親会社株主に帰属する当期純利益	8,600	9,050	9,650
1株当たり当期純利益	114.56	120.56	128.55
営業収益経常利益率	9.5%	9.5%	9.7%
設備投資計画	120億円	120億円	120億円



※2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。
上記中期経営計画の1株当たり当期純利益は当該株式分割の影響を考慮しております。

HAMAKYOREX

Ⅱ-3. 今後の取り組み

１．３ＰＬ事業を軸とする事業展開

- 積極的な設備投資
- 物流センターのDX化、省人化
- EC物流の拡大（ラストワンマイル）と自社配送の取り組み

２．3PL事業とグループ会社の融合

- 近物レックスの貨物ターミナルを物流センター化
- 3PL配送のグループシナジーを強化

３．新規顧客獲得に向けた取り組み

- 3PL新規受託件数年間目標15社
- 国内の顧客満足度を向上させるため、ニーズに応じた海外展開

４．貨物自動車運送事業の取り組み

- 物量増加の取り組み
- 貨物ターミナルの生産性向上
- 労働環境改善、運賃是正の取り組み

５．M&Aの継続

- 3PL事業、貨物自動車運送事業においてシナジー効果を創出できるM&Aの取り組み

６．ESGの取り組み強化

- CO_2排出量削減、SDGsの推進

Ⅲ. 2027年3月期
第２四半期（中間期）実績

Ⅲ-1. 四半期会計期間別(３ヶ月)の業績推移

（連結：百万円）

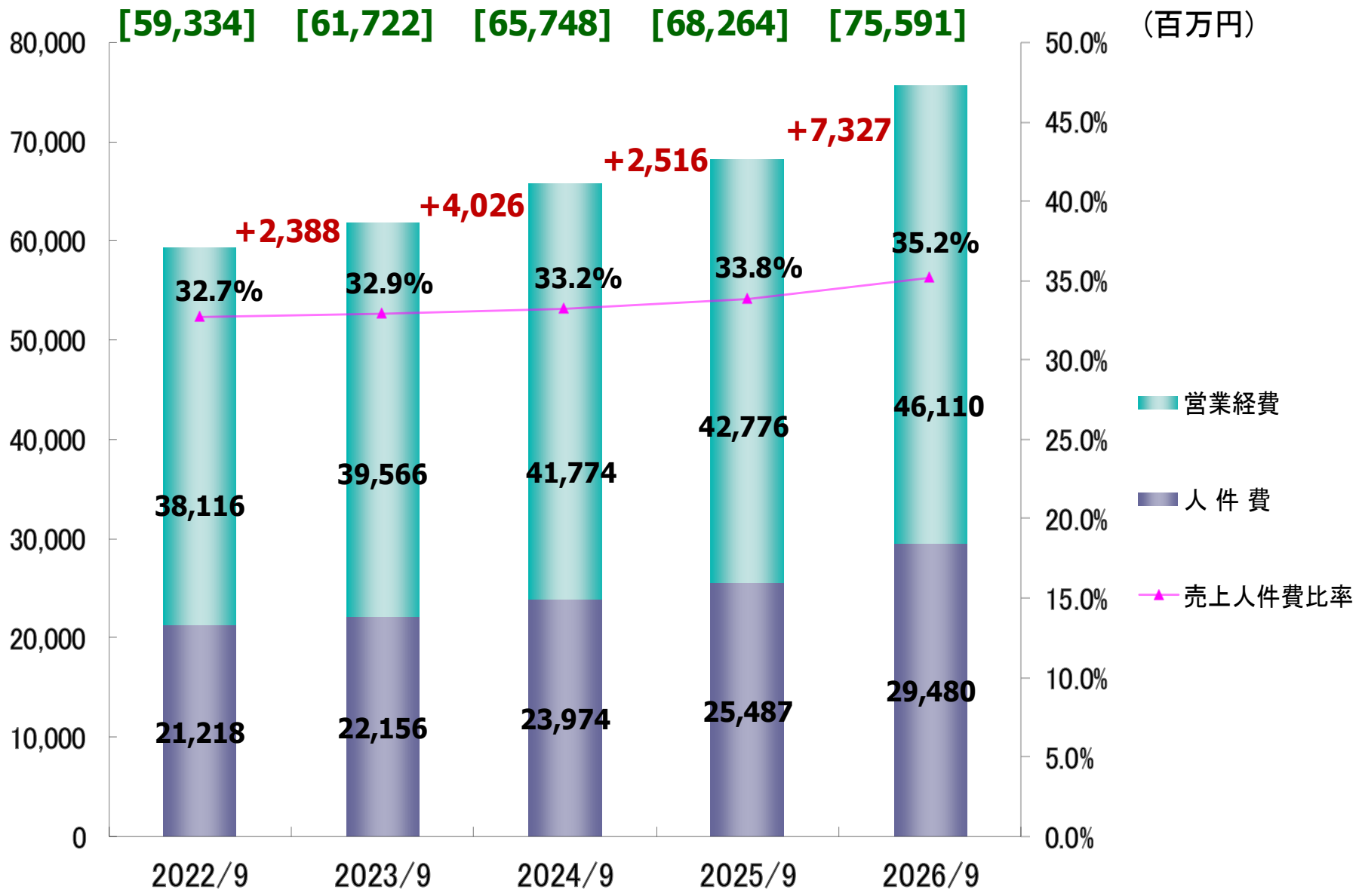
	第１四半期			第２四半期		
	2026/6	前期比（増減率）	利益率	2026/9	前期比（増減率）	利益率
営業収益	41,428	+4,035 (+10.8%)	―	42,323	+4,291 (+11.3%)	―
営業利益	4,332	+738 (+20.6%)	10.5%	3,827	+261 (+7.3%)	9.0%
経常利益	4,861	+918 (+23.3%)	11.7%	3,925	+143 (+3.8%)	9.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	2,964	+475 (+19.1%)	7.2%	2,120	△222 (△9.5%)	5.0%

Ⅲ-2. セグメント別四半期会計期間(3ヶ月)の業績推移

（百万円）

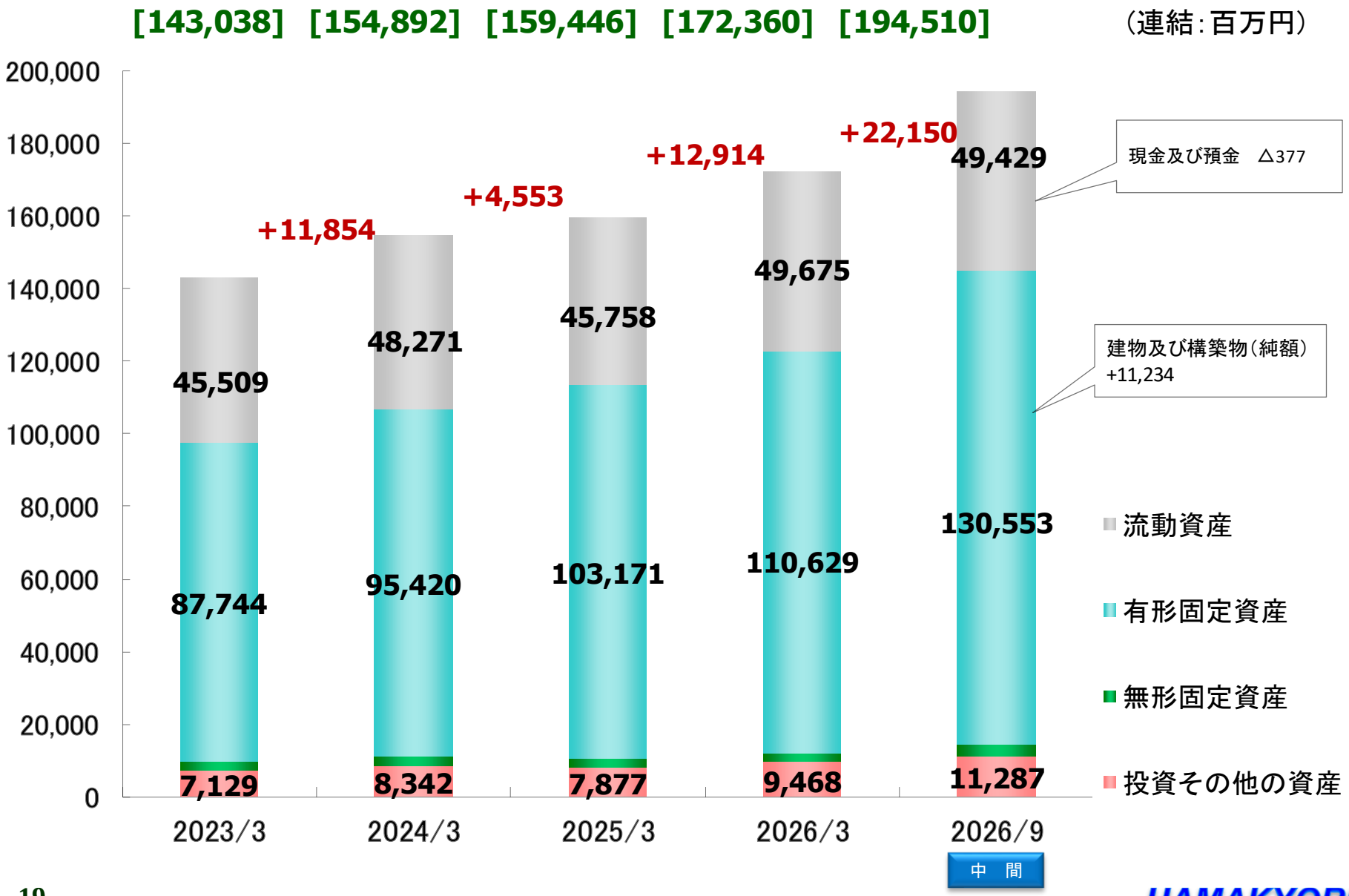
		第1四半期（4～6月）		第2四半期（7～9月）		第2四半期累計（4～9月）	
		当期実績	前期比（増減率）	当期実績	前期比（増減率）	当期実績	前期比（増減率）
物流センター	営業収益	27,162	+2,986（+12.4%）	28,548	+3,884（+15.7%）	55,710	+6,871（+14.1%）
	営業利益	3,630	+352（+10.8%）	3,303	+123（+3.9%）	6,933	+475（+7.4%）
貨物自動車運送	営業収益	14,266	+1,048（+7.9%）	13,775	+407（+3.0%）	28,041	+1,455（+5.5%）
	営業利益	686	+380（+124.0%）	509	+85（+20.3%）	1,196	+465（+63.8%）

Ⅲ-3. 経費・人件費



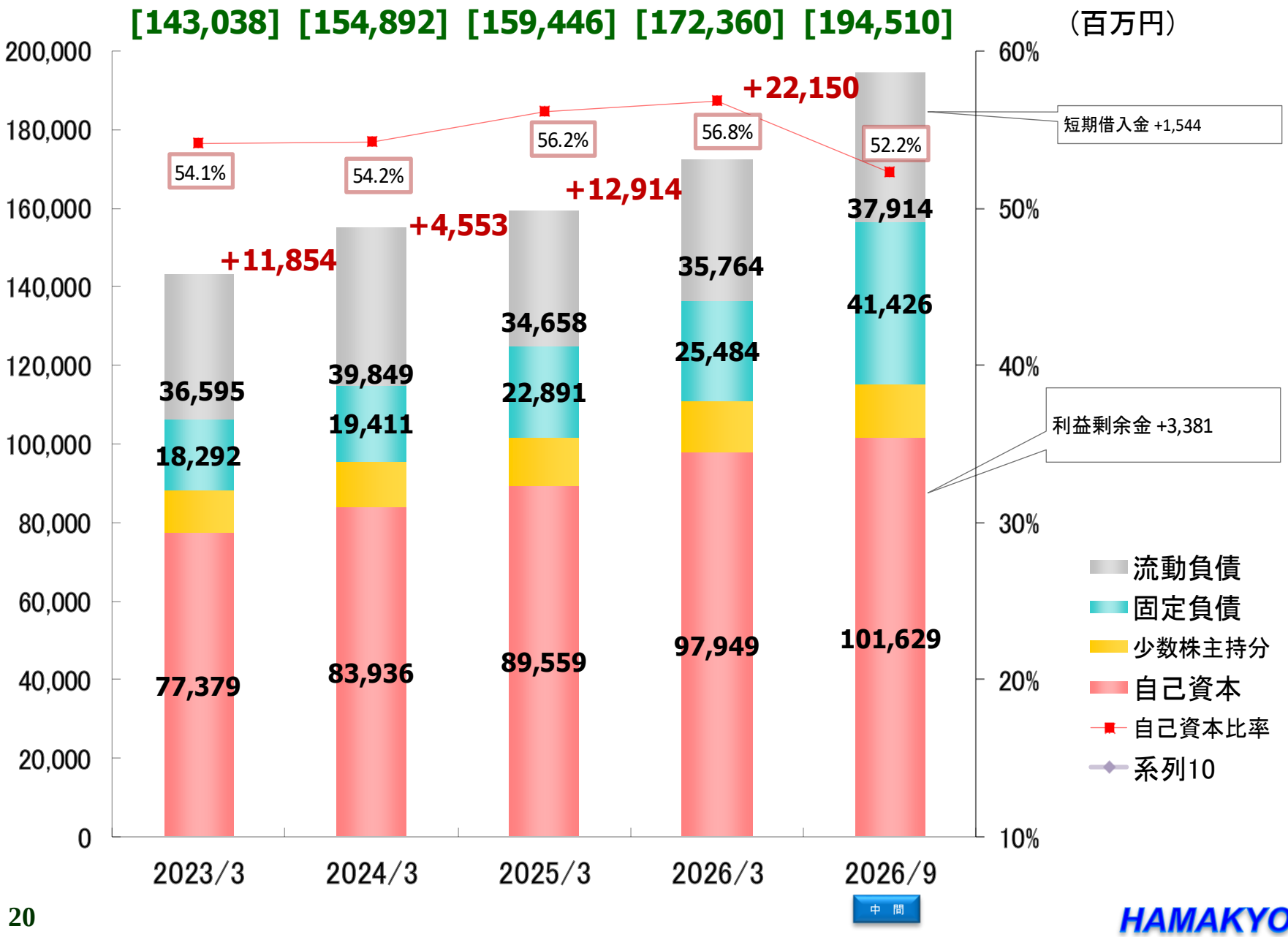
HAMAKYOREX

Ⅲ-4. 貸借対照表＜資産＞



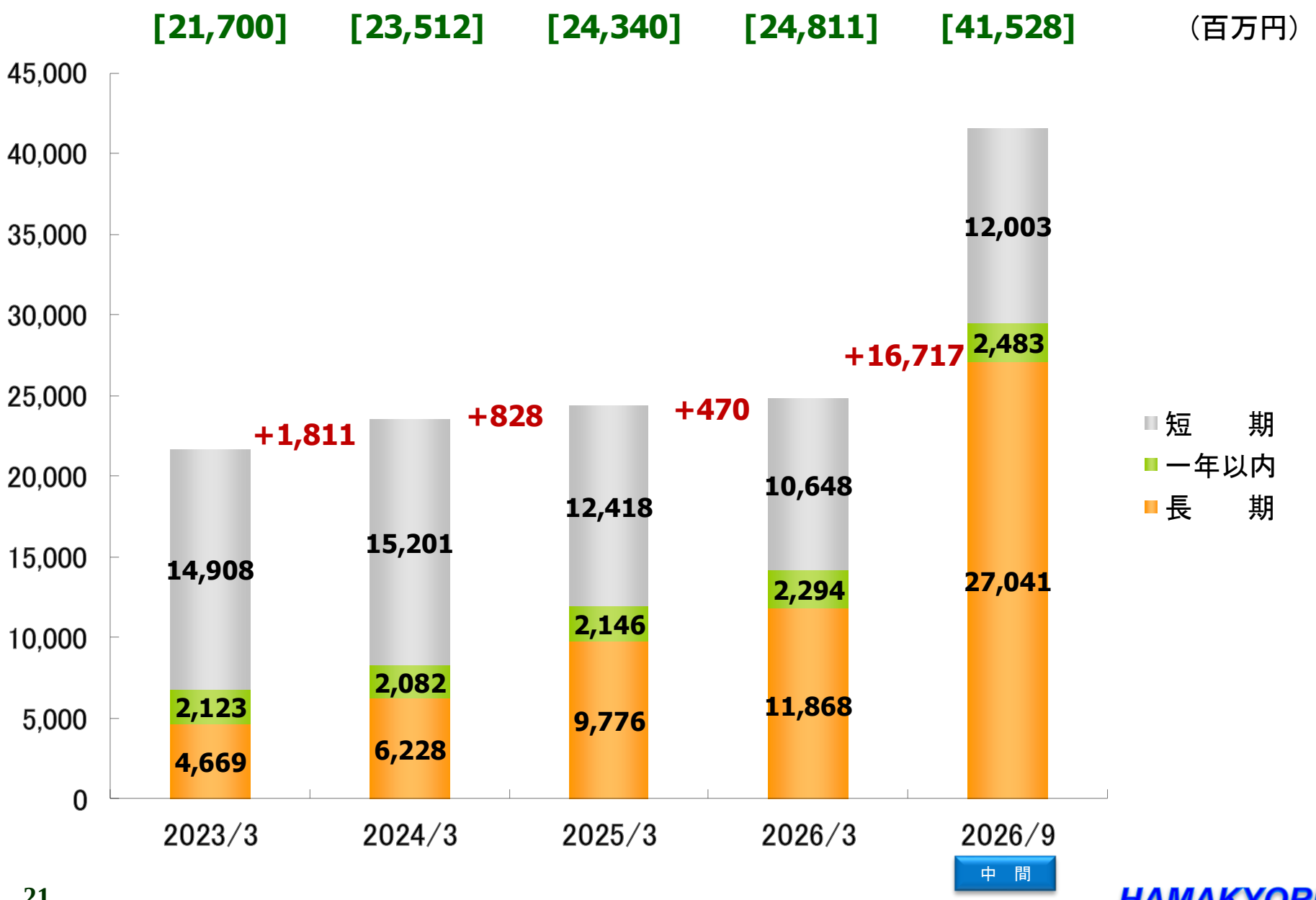
HAMAKYOREX

Ⅲ-5. 貸借対照表＜負債・純資産＞



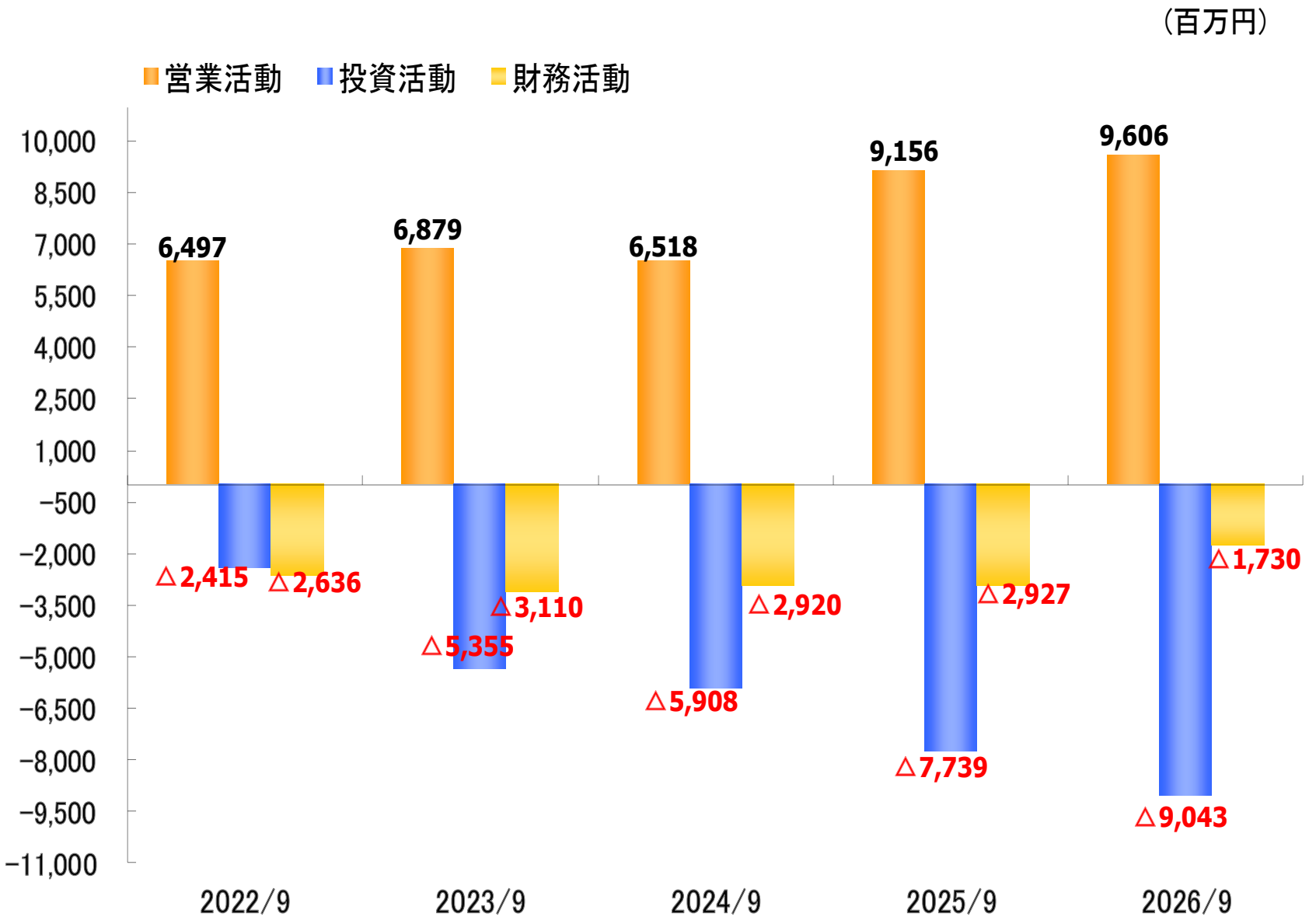
HAMAKYOREX

Ⅲ-6. 有利子負債（借入金）



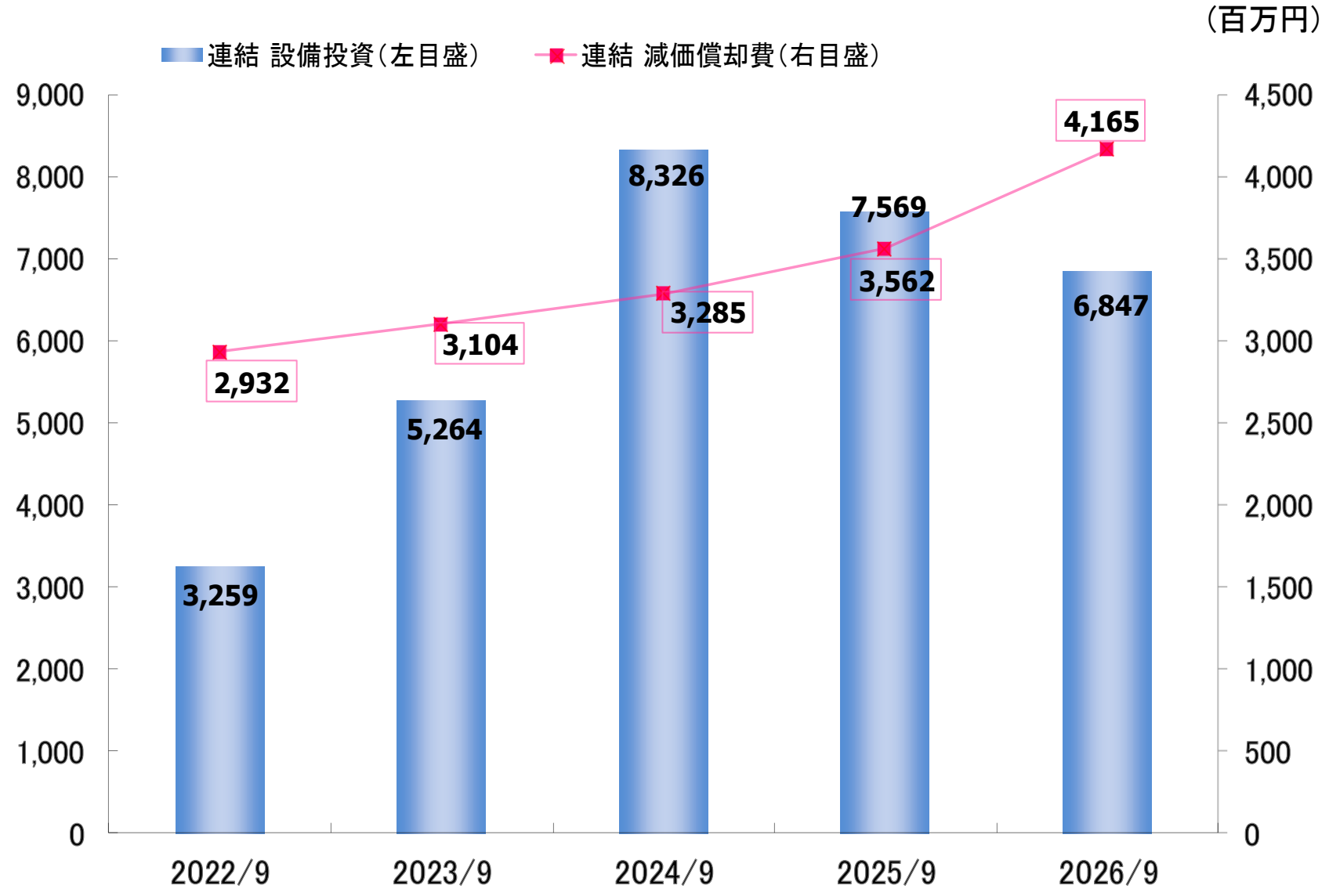
HAMAKYOREX

Ⅲ−7. キャッシュ・フロー



HAMAKYOREX

Ⅲ-8. 設備投資・減価償却費



HAMAKYOREX

IV. 近物レックスの現況と今後の戦略

Ⅳ-1. 2027年3月期第2四半期の業績

営業収益は、 193億 16百万円 （前年同期比 +1.2% ）
経常利益は、 3億 66百万円 （前年同期比 +125.0%）の増収増益

項目	対前期比	対前期比増減要因		
営 業 収 益 19,316百万円	+230百万円 (+1.2%)	・特別積合 ・貸切輸送	物量減による減収 新規受託による増収	▲92百万 +250百万
営 業 利 益 386百万円	+243百万円 (+171.0%)	・人件費減少 ・利用運送料減少 ・燃料費増加 ・貸切輸送増加に連動する費用増加	1人当りの生産性向上 内製化推進 単価上昇に伴う増加	▲53M ▲129M +27M +139M
経 常 利 益 366百万円	+203百万円 (+125.0%)	・金利上昇に伴う支払利息増加		+20M
当 期 純 利 益 243百万円	+172百万円 (+242.6%)			

Ⅳ－２．近物レックスの下期取組み

1.利益の追求

・貸切事業　　:自社車両を活用した貸切部門の輸送拡大。
　グループ取引拡大

・特積事業　　:燃油サーチャージの未収受顧客に対する交渉を行う。

・委託費　　:生産性を重視した人員配置と業務内容の見直しの継続
　幹線便の見直し

・生産性向上　:ドライバー職及び非ハンドル職1名当り生産性を追求し、適正人員、
　適正時間を設定し、労務費管理を行い、無駄をなくす



貸切専用車両

・貸切事業の拡大については、事業開発を中心に案件を獲得して、各拠点において自車車両を活用した収入の拡大とグループとの取引拡大に取り組んでまいります。

貸切収入増加額＋273百万円

・特積事業については、下期より燃料単価上昇の影響を踏まえて、燃料サーチャージ収受の拡大を進めてまいります。

・委託費の削減として、自社の効率化及び生産性の見直しを進め、 業務員やドライバー業務の自車稼働を高めて、外注費用の抑制を図ります。

・本社、支社、各店所と収支の内容を確認し、店所毎に改善策の立案と進捗を管理することで収支改善に取組んでまいります。

Ⅳ－３．　2026年度の下期取り組み

１．安全対策の強化

・安全意識向上を目的とした安全教育の実施
・危険予知エリアの指導
・対面、IT点呼時の交通法規と社内ルール伝達の徹底
・防災情報（各拠点エリアマップ）の浸透による防災意識の向上を図る。

２.設備投資

・倉庫事業拡大のための施設増築
・車両代替の継続
・労働環境改善のための施設改修



３.雇用確保

・SNSの定期配信を活用したドライバーと整備士の確保
・職種毎の手当・賃金の見直し
・働きやすい職場認証の継続



４.コンプライアンス

・内部監査を通じ、各種法令の変更に柔軟に対応する。
・ガバナンス強化を図る。
・各種セミナーの積極的な受講



V. 参考情報

Ⅴ-1. 経営理念



「物」に携わる者として、

「人と接するときは、心を込めて」
「仕事をするときは、初心を忘れず前向きに」
「物を扱うときは、心を込めて丁寧に」
「物を運ぶときは、心を込めて安全に」
「如何なるときにも感謝の心を大切に」

を基本テーマに取組んでおります。

Ⅴ-2. 経営方針

物流の役割は駅伝でいえば最終ランナー、
地味ではあるが信頼された重要な存在。
当企業グループは信頼に応えて効率的な事業活動の展開と継続的で質の高い成長を図り、お客様第一、品質第一を基本に、企業としての社会的責任を果たしてまいります。
また、短期的な収益にとらわれず、長期的な視点に立った経営を行い、３ＰＬ物流における質的内容の日本一を目指します。



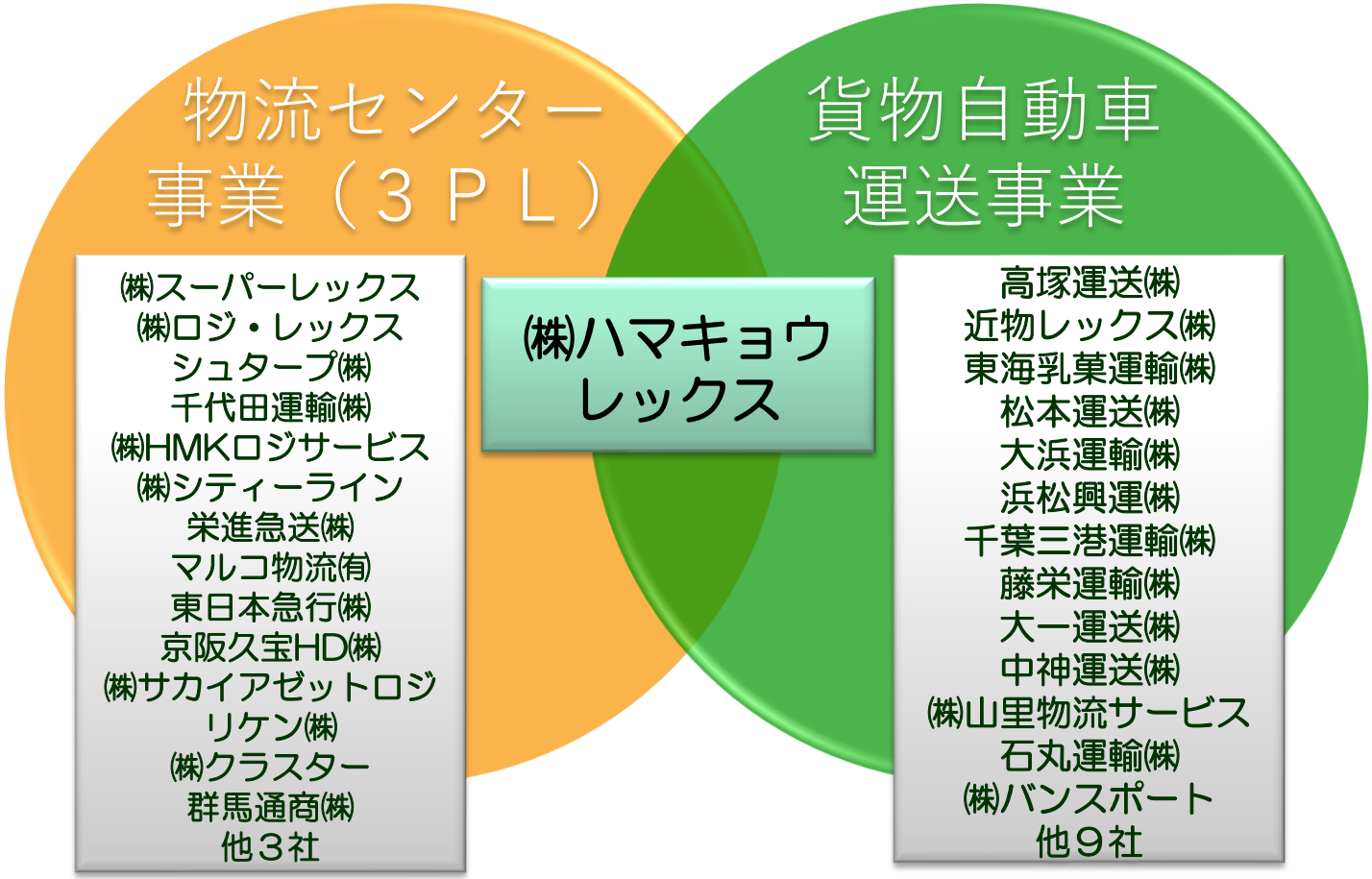
Ⅴ-3. プロフィール

会社概要（2026年９月30日現在）

社名	株式会社ハマキョウレックス (HAMAKYOREX CO., LTD.)
設立	1971年2月
資本金	65億47百万円
決算期	3月31日
従業員数	連結 6,191名
発行済株式数	76,048,000株
株主数	6,313名
事業内容	物流センター事業（3PL）、貨物自動車運送事業
連結子会社	39社
売上高	連結　837億51百万円
経常利益	連結　87億87百万円

Ⅴ-4. 事業紹介

当社グループは、
物流センター事業と貨物自動車運送事業を中心に展開しております。



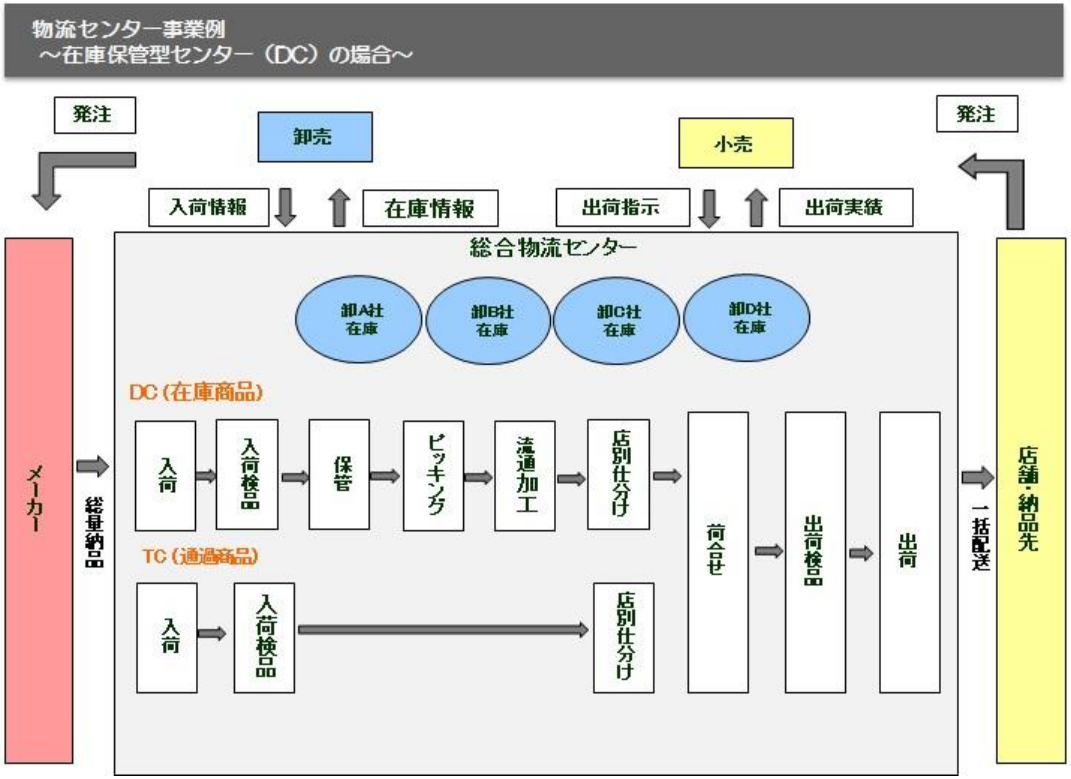
Ⅴ-5. 物流センター事業

当社は3PL(3rd Party Logistics)をおこなっております。

3PLとは、『荷主様に対して物流改革を提案し包括して物流業務を受託すること』であり、一般的には、『荷主様が物流業務を外部委託(アウトソーシング)すること』を指します。

3PLの主な目的は、「物流コスト削減」「戦略的ロジスティクスの構築による利益追求」です。

お客様にとって最適な物流通をご提案し、「物流を通じてお客様へ利益を還元する」ことが最も重要な役割であると考えております。



HAMAKYOREX

コスト競争力
現場力

当社は、「コミュニケーション」を重要視し、社員・パート・アルバイトを含めた「全員参加」による現場主導での自社運営を実施。「日計収支※1」・「生産性向上」によるコスト削減を荷主様へ提案し、物流費削減を支援いたします。

※1　日計収支とは、各拠点で、日々決算を行い、その日1日の損益を把握する仕組みです。これにより、その日の問題点を翌日の改善につなげ、日々の無駄なコストを削減していくための当社の仕組みであります。

Ⅴ-7. 拠点紹介



国内物流センター
218拠点

近物レックス配送拠点
104拠点

関東エリア
111拠点

関西エリア
27拠点

中国・四国エリア
12拠点

北海道エリア
3拠点

東北エリア
2拠点

本社

九州・沖縄エリア
8拠点

中部エリア
55拠点

物流センター数 (延べ床面積)

自社センター	73(788,882.52㎡)
借用センター	145(1,128,579.10㎡)
計	218(1,917,461.62㎡)

(2026年9月30日現在)

HAMAKYOREX

IR関係問合せ先・担当者

- 執行役員
  管理本部長兼経営企画室長　竹内　義之
- 経営企画室次長　河島　康男
  TEL 053-444-0054



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。